بِسْمِ اللَّهِ الرَّحْمَنِ الرَّحِيمِ

イスラームの英雄

第 27 巻

オルチ・レイス

アルジェの提督、アンダルスのムスリムの救済者 — クルアーン、真正なハディース、歴史書に基づいて

وَلَا تَهِنُوا۟ وَلَا تَحْزَنُوا۟ وَأَنتُمُ ٱلْأَعْلَوْنَ إِن كُنتُم مُّؤْمِنِينَ ﴿١٣٩﴾

「それで気力を失ったり，また絶望してはならない。あなたがたが信者ならば，必ず勝利を得るのである。」

イムラーン家章 3:139

HJ CHE ALIM HJ CHE HARON

quranscience.my | facebook.com/QuranScienceMY

quranscience.my で無料のデジタル版を読むには、こちらをスキャンしてください

© 2026 年 / 1448 AH quranscience.my — 無料の本。販売はできません。

謝辞

信者たちに、気力を失わず悲しまないよう命じ、信仰していれば最も優れた者であると告げられたアッラーに讃えあれ。私たちの主、預言者ムハンマド ﷺ と、その家族と教友たち、そして善をもってその道に従った人々、とりわけアンダルスのムスリムを救ったオルチ・レイスに祝福と平安あれ。

この本を、最愛の妻

ザハラ・モハマド・ラティフ；

愛する子どもたち、

ムハンマド・ハフィズ、ヌール・ハズワニ、アブドゥル・ハキム、ヌール・ヒダヤ、ノル・アキラ、ノル・アティカ；

そして義理の子どもたち、

ファジラ、マレク、ハニン、ファイリザル、フィルワンに捧げます。

『イスラームの英雄』第 27 巻は、オルチ・レイスの生涯を語ります。かつてロドス騎士団の捕虜となり、何千人ものアンダルスのムスリムを安全な地へ運び、ブジーで片腕を失い、アルジェを解放した、ミディッリ島出身の船乗りです。銀の腕の伝説、サリム・アッ＝トゥーミーの殺害、海でのジハードと略奪の違いも含め、その物語は典拠について正直に語られています。この知識が「役に立つ知識（イルムン・ユンタファウ・ビヒ）」となりますように。

この電子書籍の表紙について

この電子書籍の表紙には、人間や動物は描かれていません。描かれているのは 16 世紀初め、日の出の地中海の***アルジェの海岸***で、柔らかな金色と青の空、丘の斜面のヤシやオリーブの木、赤いケシの花が見えます。

丘の斜面には平屋根の家々が段々に並ぶ***白い町***がそびえ、頂上には***石の城壁のカスバ***、緑のタイルの四角い***モスクのミナレット***があります——1516 年にオルチが解放したアルジェを思い起こさせます。

静かな湾には、石の港と***灯台***の近くに、三角帆を張った数隻の***オスマンのガリオット船***が停泊しています。水平線には数隻の***帆船***が岸に近づいています——アンダルスのムスリムを安全な地へ運んだ船を思い起こさせます。

下部の***濃紺の帯***は***細い金色の線***で縁取られ、著者名が記されています。『イスラームの英雄』のすべての表紙をそろえるため、第 1 巻から第 26 巻と同じデザインです。

© 2026 年 / 1448 AH 著作権所有 Hj Che Alim Hj Che Haron — ムスリムのための無料版 |

目次

オルチ・レイス 5
1. オルチ・レイスとは誰か 6
2. ミディッリ島のヤクプの子 7
3. ロドス騎士団の捕虜 8
4. コルクト王子の庇護のもとで 10
5. グラナダの陥落とアンダルスのムスリムの苦難 11
6. ババ・オルチ――アンダルスのムスリムの救済者 13
7. チュニスとジェルバの拠点 15
8. 海でのジハード 16
9. ブジーで失った腕 19
10. ジジェル――人々への小麦 22
11. アルジェの人々の呼びかけ 23
12. サリム・アッ＝トゥーミー――議論のある血 25
13. アルジェのスルタンとトレムセンの征服 27
14. 川辺での殉教（1518 年） 28
15. オルチの遺産――ハイレッディンとアルジェリア 29
16. 検討すべき物語と数字 30
17. オルチの物語の典拠 31
18. 人物・場所・年表 32
19. オルチ・レイスについてのよくある質問 34
20. 教訓と結び 36
参考文献 37
支援と寄付 38

色の見方：緑の枠 = クルアーンの節；金色の枠 = ハディース；茶色の枠 = スィーラの注（スィーラ書の伝承）；青い表 = 比較。

オルチ・レイス

ヒジュラ暦 897 年（西暦 1492 年）、アンダルス最後のムスリム王国グラナダがスペインの手に落ちました。その後の数年、そこに住むムスリムはキリスト教への改宗を強いられ、モスクは閉ざされ、北アフリカへ移住したいと願う多くの人々には海を渡る船がありませんでした。

そのとき、エーゲ海のミディッリ島（レスボス島）から一人の船乗りが現れました。ハイレッディン・バルバロッサの兄、***オルチ・レイス***です。彼は船で何千人ものアンダルスのムスリムを北アフリカの海岸へ運び、人々は彼を***ババ・オルチ***（オルチ父さん）と呼びました。彼はその後アルジェをスペインの脅威から解放し、アルジェリアにおけるオスマン統治の礎を築きました。

この電子書籍は『***イスラームの英雄***』シリーズの第 27 巻です。オルチの物語は、主に彼の死後に書かれた弟の回想録『ハイレッディン・パシャ戦記』と、彼に敵対したスペインの史料に由来します。すべての物語の典拠と等級を――「銀の腕」の伝説、まき散らされた金の話、サリム・アッ＝トゥーミーの殺害、海でのジハードと略奪の違いも含めて――正直に示し、その教訓はクルアーンと真正なハディースに基づいています。

オルチの物語は、兄弟と自由と片腕を失いながらも、弱いムスリムを助ける情熱を決して失わなかった一人の人の物語です。

© 2026 年 / 1448 AH 著作権所有 Hj Che Alim Hj Che Haron — ムスリムのための無料版 |

オルチ・レイスとは誰か

彼はヒジュラ暦879年（西暦1474年）ごろ、エーゲ海のミディッリ島（レスボス島）で生まれた***ヤクプの子オルチ***です。アラビア語では***アルージ***と書かれ、ヨーロッパの人々は彼を***バルバロッサ***（「赤ひげ」）と呼びました——この呼び名は後に弟のハイレッディンに受け継がれました。

彼はヒジュラ暦924年（西暦1518年）、およそ44歳のとき、アルジェリア西部のトレムセン近くでスペイン軍と戦って殉教しました。

名前と称号

名前・称号	説明
オルチ（アルージ）	本来の名前。トルコ語で「断食」の意味
レイス	船長の称号
ババ・オルチ	「オルチ父さん」。彼が救ったアンダルスのムスリムがつけた呼び名
バルバロッサ	イタリア語で「赤ひげ」。ヨーロッパの人々の呼び名
ギュミュシュ・コル	「銀の腕」。腕を失った後の伝承上の呼び名

教訓

最も尊い称号は、助けた人々から贈られるものです。「ババ・オルチ」はどんな位よりも大きな意味を持っています。

© 2026年 / 1448 AH 著作権所有 Hj Che Alim Hj Che Haron — ムスリムのための無料版

ミディッリ島のヤクプの子

歴史の注：船乗りの家族

父***ヤクプ・アー***は、1462 年に征服王メフメト 2 世が島を征服した後、ミディッリに住みついたオスマンの騎兵でした。彼は結婚して 4 人の息子をもうけました。***イスハーク***、***オルチ***、***ヒズル***（後にハイレッディンとして知られる）、そして***イルヤース***です。

家族は小さな船を持ち、エーゲ海で商いをしていました。オルチは若いころから航海術を学び、風や潮の流れを読み、島々や港を知りました。この知識が、後に彼をその時代で最も腕の立つ船乗りの一人にしたのです。

伝承の等級：主に『ハイレッディン・パシャ戦記』（セイイド・ムラーディーが記したハイレッディンの回想録）、キャーティプ・チェレビーの著作、ディエゴ・デ・アエドなどスペインの史料といった歴史書に、ハディース学者の基準による伝承経路なしで伝えられています。歴史として受け入れられていますが、真正なハディースのように典拠（フッジャ）として用いることはできません。

参照：

『ハイレッディン・パシャ戦記』（セイイド・ムラーディー）；キャーティプ・チェレビー『海の遠征についての偉人たちへの贈り物』。

教訓

子どものころに学んだ技能は、どれほど平凡に見えても、ウンマに仕える大きな道具となりえます。

© 2026 年 / 1448 AH 著作権所有 Hj Che Alim Hj Che Haron — ムスリムのための無料版 |

ロドス騎士団の捕虜

歴史の注：弟を失う

シャームのトリポリへ向かう航海で、オルチと弟イルヤースの船はロドス島の***聖ヨハネ騎士団***の軍船に襲われました。イルヤースは戦いで殉教し、オルチは捕らえられました。彼は数年のあいだ騎士団のガレー船の漕ぎ手奴隷とされました——その時代、とても苦い運命でした。

どのように自由になったかについては伝えが分かれています。『戦記』によれば弟ヒズルが身代金で救おうと努め、別の伝えでは船が停泊していたときに泳いで岸に逃れたといいます。この捕虜の経験が、騎士団と戦いムスリムの捕虜を解放するという彼の決意を形づくりました。

伝承の等級：捕虜となったことはオスマンの史料に伝えられていますが、解放のされ方は伝えによって異なります。

参照：

『ハイレッディン・パシャ戦記』（セイイド・ムラーディー）；キャーティプ・チェレビー『海の遠征についての偉人たちへの贈り物』。

捕虜を解放することは、アッラーの使徒 ﷺ の命令の一つです。

ハディース — 『サヒーフ・ブハーリー』第 3046 番

حَدَّثَنَا قُتَيْبَةُ بْنُ سَعِيدٍ، حَدَّثَنَا جَرِيرٌ، عَنْ مَنْصُورٍ، عَنْ أَبِي وَائِلٍ، عَنْ أَبِي مُوسَى - رضى الله عنه - قَالَ قَالَ رَسُولُ اللَّهِ صلى الله عليه وسلم " فُكُّوا الْعَانِيَ - يَعْنِي الأَسِيرَ - وَأَطْعِمُوا الْجَائِعَ وَعُودُوا الْمَرِيضَ ".

訳：

アブー・ムーサーの伝えるところでは、アッラーの使徒 ﷺ はこう言われました。 *「捕虜を解放し、飢えた者に食べさせ、病人を見舞いなさい。」*

伝承経路： イマーム・ブハーリーの伝承：クタイバ・ブン・サイード ← ジャリール・ブン・アブドゥルハミード ← マンスール・ブン・アル＝ムウタミル ← アブー・ワーイル・シャキーク・ブン・サラマ ← アブー・ムーサー・アシュアリー رضى الله عنه。

出典： イマーム・ブハーリー『サヒーフ・ブハーリー』ジハードと遠征の書、第 3046 番。

等級： サヒーフ（真正）— 『サヒーフ・ブハーリー』に収録。ハディース学者の総意により、クルアーンに次いで最も真正な書である。

典拠： sunnah.com/bukhari:3046

教訓

苦しみは師となりえます。捕らわれの苦さを味わった者こそ、他者を解放することの価値を最もよく理解するのです。

コルクト王子の庇護のもとで

歴史の注：アンタルヤと地中海

自由になった後、オルチはスルタン・バヤズィト 2 世の子でアンタルヤの総督、学問と航海を愛したことで知られる***コルクト王子***の支援を得ました。コルクトの助けで船を手に入れ、西地中海へ航海するようになりました。一時期エジプトのマムルーク朝に仕えたという伝えもあります。

当時の地中海は、ムスリムの船と、スペイン、ポルトガル、ジェノヴァ、聖ヨハネ騎士団の船とのあいだの戦場でした。双方が敵の船を襲い、財を奪い、乗客を捕らえていました——その時代の苦い現実です。

伝承の等級： 主に『ハイレッディン・パシャ戦記』（セイイド・ムラーディーが記したハイレッディンの回想録）、キャーティプ・チェレビーの著作、ディエゴ・デ・アエドなどスペインの史料といった歴史書に、ハディース学者の基準による伝承経路なしで伝えられています。歴史として受け入れられていますが、真正なハディースのように典拠（フッジャ）として用いることはできません。

参照：

『ハイレッディン・パシャ戦記』（セイイド・ムラーディー）；キャーティプ・チェレビー『海の遠征についての偉人たちへの贈り物』。

教訓

才能ある人には、その可能性を見抜く後援者が必要です。指導者の助けが一人の人生の行方を変えることがあるのです。

グラナダの陥落とアンダルスのムスリムの苦難

歴史の注：1492 年以後

1492 年にグラナダが降伏したとき、降伏条約はムスリムに信教の自由を約束していました。しかし数年のうちに条約は破られました。1499 年からグラナダのムスリムはキリスト教への改宗を強いられ、アラビア語の書物は焼かれ、彼らの反乱は鎮圧されました。1502 年には、カスティーリャのムスリムは改宗するか国を去るかの選択を迫られました。

多くの人々は表向きキリスト教徒になることを強いられながら、ひそかにイスラームを守り続けました。彼らは後に***モリスコ***として知られるようになります。多くの人が北アフリカへの移住を望みましたが、海を渡る旅は危険で、彼らの持たない船が必要でした。

伝承の等級： これらの出来事はスペインとイスラームの歴史史料で確かめられます。

参照：

アンダルス史の研究；L・P・ハーヴィー『スペインのムスリム 1500〜1614 年』。

© 2026 年 / 1448 AH 著作権所有 Hj Che Alim Hj Che Haron — ムスリムのための無料版 |

クルアーンはムスリムに、弱く虐げられた人々を助けるよう呼びかけています。

婦人章 4:75

وَمَا لَكُمْ لَا تُقَٰتِلُونَ فِى سَبِيلِ ٱللَّهِ وَٱلْمُسْتَضْعَفِينَ مِنَ ٱلرِّجَالِ وَٱلنِّسَآءِ وَٱلْوِلْدَٰنِ ٱلَّذِينَ يَقُولُونَ رَبَّنَآ أَخْرِجْنَا مِنْ هَٰذِهِ ٱلْقَرْيَةِ ٱلظَّالِمِ أَهْلُهَا وَٱجْعَل لَّنَا مِن لَّدُنكَ وَلِيًّا وَٱجْعَل لَّنَا مِن لَّدُنكَ نَصِيرًا ﴿٧٥﴾

あなたがたはどうして，アッラーの道のために戦わないのか。また弱い男や女や子供たちのためにも。かれらは（祈って）言う。「主よ，この不義をなす（マッカの）住民の町から，わた したちを救い出して下さい。そしてわたしたちに，あなたの御許から一人の保護者を立てて下さ い。またわたしたちに，あなたの御許から一人の援助者を立てて下さい。」

訳：三田了一 — quran.com/4:75

教訓

信仰の兄弟の苦しみは共同の責任です。アンダルスのムスリムは、その叫びに応えてくれる誰かを待っていました。

ババ・オルチ——アンダルスのムスリムの救済者

歴史の注：救いの船

オスマンの史料によれば、オルチと兄弟たちは、移住を望むアンダルスのムスリムを運ぶためにスペインの海岸へ何度も航海し、チュニジアやアルジェリアなど北アフリカの海岸へ送り届けました。そのため人々は彼を***ババ・オルチ***、「オルチ父さん」と呼んだのです。

『戦記』は数年のあいだに何万人もが救われたと述べていますが、正確な数は確かめられません。今日のアルジェリアやチュニジアのアンダルス系ムスリムの子孫の多くがこの物語を覚えています。彼らの到来は、北アフリカの町々の学問、農業、手工業をよみがえらせました。

伝承の等級：アンダルスのムスリムを運んだオルチの役割はオスマンの史料に伝えられていますが、実際の数は不確かです。

参照：

『ハイレッディン・パシャ戦記』（セイイド・ムラーディー）；キャーティプ・チェレビー『海の遠征についての偉人たちへの贈り物』。

アッラーの使徒 ﷺ は、ムスリムの兄弟を助けることを、アッラーの助けを得る理由とされました。

ハディース ― 『サヒーフ・ブハーリー』第 2442 番

حَدَّثَنَا يَحْيَى بْنُ بُكَيْرٍ، حَدَّثَنَا اللَّيْثُ، عَنْ عُقَيْلٍ، عَنِ ابْنِ شِهَابٍ، أَنَّ سَالِمًا، أَخْبَرَهُ أَنَّ عَبْدَ اللَّهِ بْنَ عُمَرَ ـ رضى الله عنهما ـ أَخْبَرَهُ أَنَّ رَسُولَ اللَّهِ صلى الله عليه وسلم قَالَ " الْمُسْلِمُ أَخُو الْمُسْلِمِ، لاَ يَظْلِمُهُ وَلاَ يُسْلِمُهُ، وَمَنْ كَانَ فِي حَاجَةِ أَخِيهِ كَانَ اللَّهُ فِي حَاجَتِهِ، وَمَنْ فَرَّجَ عَنْ مُسْلِمٍ كُرْبَةً فَرَّجَ اللَّهُ عَنْهُ كُرْبَةً مِنْ كُرُبَاتِ يَوْمِ الْقِيَامَةِ، وَمَنْ سَتَرَ مُسْلِمًا سَتَرَهُ اللَّهُ يَوْمَ الْقِيَامَةِ ".

訳：

アブドゥッラー・ブン・ウマルの伝えるところでは、アッラーの使徒 ﷺ はこう言われました。*「ムスリムはムスリムの兄弟である。彼を不当に扱わず、（敵に）見捨てない。* 兄弟の必要を満たす者には、アッラーがその必要を満たされる。ムスリムを一つの苦難から救う者は、アッラーが復活の日の苦難の一つから救われる。ムスリムの欠点を覆う者は、アッラーが復活の日にその欠点を覆われる。」

伝承経路： イマーム・ブハーリーの伝承：ヤフヤー・ブン・ブカイル ← ライス・ブン・サアド ← ウカイル・ブン・ハーリド ← イブン・シハーブ・ズフリー ← サーリム・ブン・アブドゥッラー ← アブドゥッラー・ブン・ウマル رضى الله عنهما。

出典： イマーム・ブハーリー『サヒーフ・ブハーリー』不正の書、第 2442 番。

等級： サヒーフ（真正）― 『サヒーフ・ブハーリー』に収録。ハディース学者の総意により、クルアーンに次いで最も真正な書である。

典拠： sunnah.com/bukhari:2442

教訓

最も尊い英雄的行為は、他者の命と信仰を救うことです。オルチの船は乗客だけでなく、希望を運んでいたのです。

チュニスとジェルバの拠点

歴史の注：ハフス朝のスルタンとの取り決め

1504 年ごろ、オルチは***チュニスのハフス朝スルタン***アブー・アブドゥッラー・ムハンマドに、戦利品の一部をスルタンに納めることを条件に、ラ・グレットの港を拠点として使う許可を求めました。その後、彼はチュニジア南部の***ジェルバ島***を拠点としました。

イタリアとスペインの史料によれば、1504 年にオルチはエルバ島近くで教皇ユリウス 2 世の軍船 2 隻を捕らえました——ヨーロッパを震撼させ、彼の名を広めた出来事です。

伝承の等級：主に『ハイレッディン・パシャ戦記』（セイイド・ムラーディーが記したハイレッディンの回想録）、キャーティプ・チェレビーの著作、ディエゴ・デ・アエドなどスペインの史料といった歴史書に、ハディース学者の基準による伝承経路なしで伝えられています。歴史として受け入れられていますが、真正なハディースのように典拠（フッジャ）として用いることはできません。

参照：

『ハイレッディン・パシャ戦記』（セイイド・ムラーディー）；ディエゴ・デ・アエド『アルジェ史』。

教訓

民族や国が異なっていても、ムスリムどうしの協力は共通の敵に対する隊列を強めます。

© 2026 年 / 1448 AH 著作権所有 Hj Che Alim Hj Che Haron — ムスリムのための無料版 |

海でのジハード

アッラーの使徒ﷺは、海で戦う最初のムスリム軍の徳を告げられました。

ハディース — 『サヒーフ・ブハーリー』第 2924 番

حَدَّثَنِي إِسْحَاقُ بْنُ يَزِيدَ الدِّمَشْقِيُّ، حَدَّثَنَا يَحْيَى بْنُ حَمْزَةَ، قَالَ حَدَّثَنِي ثَوْرُ بْنُ يَزِيدَ، عَنْ خَالِدِ بْنِ مَعْدَانَ، أَنَّ عُمَيْرَ بْنَ الأَسْوَدِ الْعَنْسِيَّ، حَدَّثَهُ أَنَّهُ، أَتَى عُبَادَةَ بْنَ الصَّامِتِ وَهْوَ نَازِلٌ فِي سَاحِلِ حِمْصَ، وَهْوَ فِي بِنَاءٍ لَهُ وَمَعَهُ أُمُّ حَرَامٍ، قَالَ عُمَيْرٌ فَحَدَّثَتْنَا أُمُّ حَرَامٍ أَنَّهَا سَمِعَتِ النَّبِيَّ صلى الله عليه وسلم يَقُولُ " أَوَّلُ جَيْشٍ مِنْ أُمَّتِي يَغْزُونَ الْبَحْرَ قَدْ أَوْجَبُوا ". قَالَتْ أُمُّ حَرَامٍ قُلْتُ يَا رَسُولَ اللَّهِ أَنَا فِيهِمْ. قَالَ " أَنْتِ فِيهِمْ ". ثُمَّ قَالَ النَّبِيُّ صلى الله عليه وسلم " أَوَّلُ جَيْشٍ مِنْ أُمَّتِي يَغْزُونَ مَدِينَةَ قَيْصَرَ مَغْفُورٌ لَهُمْ ". فَقُلْتُ أَنَا فِيهِمْ يَا رَسُولَ اللَّهِ. قَالَ " لاَ ".

訳：

ウマイル・ブン・アル＝アスワド・アル＝アンスィーは、ヒムスの海岸に滞在していたウバーダ・ブン・アッ＝サーミトのもとを訪ね、そこにウンム・ハラームがいたと語りました。ウマイルは言いました。ウンム・ハラームは、預言者 ﷺ がこう言われるのを聞いたと私たちに語った。「私のウンマのうち、海で戦う最初の軍は、（楽園を）確かなものとした。」ウンム・ハラームは言った。私は「アッラーの使徒よ、私もその中にいますか」と尋ねた。彼は「あなたはその中にいる」と言われた。それから預言者 ﷺ は言われた。*「私のウンマのうち、カエサルの町を攻める最初の軍は、赦される。」*私は「私もその中にいますか、アッラーの使徒よ」と尋ねた。彼は「いいえ」と言われた。

伝承経路： イマーム・ブハーリーの伝承：イスハーク・ブン・ヤズィード・アッ＝ディマシュキー ← ヤフヤー・ブン・ハムザ ← サウル・ブン・ヤズィード ← ハーリド・ブン・マアダーン ← ウマイル・ブン・アル＝アスワド・アル＝アンスィー ← ウンム・ハラーム・ビント・ミルハーン رضى الله عنها。

出典： イマーム・ブハーリー『サヒーフ・ブハーリー』ジハードと遠征の書、第 2924 番。

等級： サヒーフ（真正）— 『サヒーフ・ブハーリー』に収録。ハディース学者の総意により、クルアーンに次いで最も真正な書である。

典拠： sunnah.com/bukhari:2924

典拠の注：ジハードと略奪のあいだ

ヨーロッパの史料はオルチと兄弟たちを「海賊」と呼びます。現代の歴史家は、彼らをより正確に、国家から敵の船を襲う権限を与えられた船乗りという意味で***コルセア（私掠船乗り）***と呼びます。当時は双方――ムスリムもキリスト教徒も――同じことをしていました。マルタ騎士団、スペイン、ジェノヴァもムスリムの船を襲い、乗客を奴隷として売っていたのです。

正直に述べなければなりませんが、これらの私掠も財や捕虜を奪い、そこには民間人も含まれ、その一部は奴隷として売られました。これは当時の戦争の現実であり、美化することはできません。真のジハードを区別するのは、意図、戦いの作法、そしてシャリーアへの服従です――それを完全に知っておられるのはアッラーだけです。

伝承の等級： ウンム・ハラームのハディースは真正です。私掠についての評価は歴史研究の問題です。

参照：

地中海史の研究；イブン・ハジャル『ファトフ・アル＝バーリー』。

教訓

海もまた奮闘の場です。しかし奮闘がアッラーの御許で価値を持つのは、その意図と方法がシャリーアにかなうときだけです。

ブジーで失った腕

歴史の注：1512 年 8 月

1510 年、スペインはアルジェリア沿岸の町 ***ブジー***（ベジャイア）を占領しました。1512 年 8 月、追放されていたブジーの支配者がスペインを追い払うためにオルチに助けを求めました。その戦いでオルチは銃撃を受けて重傷を負い、片腕——多くの史料によれば ***左腕***——を切断しなければなりませんでした。

伝承は後に、彼が銀の義手をつけたと語り、彼を ***ギュミュシュ・コル***（「銀の腕」）と呼びました。銀の腕の話は有名ですが、同時代の史料では確かめられません。確かなのは、腕を失っても彼の奮闘は止まらなかったということです。彼は生涯の終わりまで軍と艦隊を率い続けました。

伝承の等級： ブジーで腕を失ったことはいくつかの史料で確かめられますが、銀の腕の話は伝承です。

参照：

『ハイレッディン・パシャ戦記』（セイイド・ムラーディー）；ディエゴ・デ・アエド『アルジェ史』。

信者は災難を忍耐の目で見ます。

ハディース — 『サヒーフ・ムスリム』第 2999 番

حَدَّثَنَا هَدَّابُ بْنُ خَالِدٍ الأَزْدِيُّ، وَشَيْبَانُ بْنُ فَرُّوخَ، جَمِيعًا عَنْ سُلَيْمَانَ بْنِ الْمُغِيرَةِ، - وَاللَّفْظُ لِشَيْبَانَ - حَدَّثَنَا سُلَيْمَانُ، حَدَّثَنَا ثَابِتٌ، عَنْ عَبْدِ الرَّحْمَنِ بْنِ أَبِي لَيْلَى، عَنْ صُهَيْبٍ، قَالَ قَالَ رَسُولُ اللَّهِ صلى الله عليه وسلم " عَجَبًا لأَمْرِ الْمُؤْمِنِ إِنَّ أَمْرَهُ كُلَّهُ خَيْرٌ وَلَيْسَ ذَاكَ لأَحَدٍ إِلاَّ لِلْمُؤْمِنِ إِنْ أَصَابَتْهُ سَرَّاءُ شَكَرَ فَكَانَ خَيْرًا لَهُ وَإِنْ أَصَابَتْهُ ضَرَّاءُ صَبَرَ فَكَانَ خَيْرًا لَهُ " .

訳：

スハイブによると、アッラーの使徒 ﷺ はこう言われました。*「信者の事柄はなんと素晴らしいことか。そのすべての事柄が彼にとって善であり、これは信者以外の誰にもない。喜ばしいことが訪れれば感謝し、それが彼にとって善となる。災いが訪れれば忍耐し、それが彼にとって善となる。」*

伝承経路： イマーム・ムスリムの伝承：ハッダーブ・ブン・ハーリド・アズディーとシャイバーン・ブン・ファッルーフ ← スライマーン・ブン・ムギーラ ← サービト・ブナーニー ← アブドゥッラフマーン・ブン・アビー・ライラー ← スハイブ・ルーミー رضى الله عنه。

出典： イマーム・ムスリム『サヒーフ・ムスリム』禁欲と心を和らげることの書、第 2999 番。

等級： サヒーフ（真正）— 『サヒーフ・ブハーリー』に次いで最も真正なハディース集『サヒーフ・ムスリム』に収録。

典拠： sunnah.com/muslim:2999

そしてアッラーは、信者たちが気力を失うことを禁じておられます。

イムラーン家章 3:139

وَلَا تَهِنُوا۟ وَلَا تَحْزَنُوا۟ وَأَنتُمُ ٱلْأَعْلَوْنَ إِن كُنتُم مُّؤْمِنِينَ ﴿١٣٩﴾

それで気力を失ったり，また絶望してはならない。あなたがたが信者ならば，必ず勝利を得るのである。

訳：三田了一 — quran.com/3:139

教訓

傷ついた体は心まで傷つけません。オルチは片腕を失いましたが、決意は失いませんでした。

ジジェル——人々への小麦

歴史の注：1514 年

1514 年、オルチとヒズルは、当時ジェノヴァ人が支配していたアルジェリア東部沿岸の町***ジジェル***を取りました。ジジェルは北アフリカ本土における彼らの最初の拠点となりました。

『戦記』によれば、ジジェルとその周辺の人々が飢饉に見舞われたとき、オルチは敵の船から奪った小麦を無償で彼らに分け与えました。この行いによって彼は地元の人々にとても慕われ、多くの人が彼に加わりました。

伝承の等級：主に『ハイレッディン・パシャ戦記』（セイイド・ムラーディーが記したハイレッディンの回想録）、キャーティプ・チェレビーの著作、ディエゴ・デ・アエドなどスペインの史料といった歴史書に、ハディース学者の基準による伝承経路なしで伝えられています。歴史として受け入れられていますが、真正なハディースのように典拠（フッジャ）として用いることはできません。

参照：
『ハイレッディン・パシャ戦記』（セイイド・ムラーディー）；ディエゴ・デ・アエド『アルジェ史』。

教訓

人々の心は力だけでなく、善意によって勝ち取られます。分け与えられた小麦は千の剣よりも力がありました。

© 2026 年 / 1448 AH 著作権所有 Hj Che Alim Hj Che Haron — ムスリムのための無料版 |

アルジェの人々の呼びかけ

歴史の注：1516 年

1510 年、スペインは***アルジェ***の港の前の小島に***ペニョン***という要塞を築き、アルジェの人々に貢納を強いました。1516 年、スペイン王フェルナンドの死後、***サリム・アッ＝トゥーミー***に率いられたアルジェの人々は、スペインを追い払うためにオルチに助けを求めました。

オルチは兵と船を率いてやって来て、人々に喜んで迎えられました。彼はペニョンを攻めましたが、大砲の力が足りず落とすことはできませんでした。その要塞が落ちたのは、1529 年、弟ハイレッディンによってでした。

伝承の等級：主に『ハイレッディン・パシャ戦記』（セイイド・ムラーディーが記したハイレッディンの回想録）、キャーティプ・チェレビーの著作、ディエゴ・デ・アエドなどスペインの史料といった歴史書に、ハディース学者の基準による伝承経路なしで伝えられています。歴史として受け入れられていますが、真正なハディースのように典拠（フッジャ）として用いることはできません。

参照：

『ハイレッディン・パシャ戦記』（セイイド・ムラーディー）；ディエゴ・デ・アエド『アルジェ史』。

信者たちは兄弟であり、呼ばれれば互いに助け合います。

部屋章 49:10

إِنَّمَا ٱلْمُؤْمِنُونَ إِخْوَةٌ فَأَصْلِحُوا۟ بَيْنَ أَخَوَيْكُمْ ۚ وَٱتَّقُوا۟ ٱللَّهَ لَعَلَّكُمْ تُرْحَمُونَ

﴿١٠﴾

信者たちは兄弟である。だからあなたがたは兄弟の間の融和を図り，アッラーを畏れなさい。必ずあなたがたは慈悲にあずかるのである。

訳：三田了一 — quran.com/49:10

アッラーの使徒 ﷺ はこのウンマを一つの体にたとえられました。

ハディース ― 『サヒーフ・ブハーリー』第 6011 番

حَدَّثَنَا أَبُو نُعَيْمٍ، حَدَّثَنَا زَكَرِيَّاءُ، عَنْ عَامِرٍ، قَالَ سَمِعْتُهُ يَقُولُ سَمِعْتُ النُّعْمَانَ بْنَ بَشِيرٍ، يَقُولُ قَالَ رَسُولُ اللَّهِ صلى الله عليه وسلم " تَرَى الْمُؤْمِنِينَ فِي تَرَاحُمِهِمْ وَتَوَادِّهِمْ وَتَعَاطُفِهِمْ كَمَثَلِ الْجَسَدِ إِذَا اشْتَكَى عُضْوًا تَدَاعَى لَهُ سَائِرُ جَسَدِهِ بِالسَّهَرِ وَالْحُمَّى ".

訳：

ヌウマーン・ブン・バシールは言いました。アッラーの使徒 ﷺ はこう言われた。 *「あなたは、信者たちが互いに慈しみ、愛し合い、思いやる姿を、一つの体のように見るであろう。体の一部が痛めば、体の残りの部分も眠れず熱を出してそれに応えるのである。」*

伝承経路： イマーム・ブハーリーの伝承：アブー・ヌアイム・ファドル・ブン・ドゥカイン ← ザカリッヤー・ブン・アビー・ザーイダ ← アーミル・シャアビー ← ヌウマーン・ブン・バシール رضي الله عنهما。

出典： イマーム・ブハーリー『サヒーフ・ブハーリー』礼儀の書、第 6011 番。

等級： サヒーフ（真正）― 『サヒーフ・ブハーリー』に収録。ハディース学者の総意により、クルアーンに次いで最も真正な書である。

典拠： sunnah.com/bukhari:6011

教訓

信仰の兄弟の呼びかけに応えずにいてはなりません。オルチは、自らが危険の中にありながらもアルジェの呼びかけに応えました。

© 2026 年 / 1448 AH 著作権所有 Hj Che Alim Hj Che Haron ― ムスリムのための無料版 |

サリム・アッ＝トゥーミー——議論のある血

歴史の注：暗い側面

オルチがアルジェに着いて間もなく、彼を招いたアルジェの長***サリム・アッ＝トゥーミー***との関係が悪化しました。アエドなどスペインの史料によれば、オルチはサリム・アッ＝トゥーミーを殺し——浴場で絞め殺したとも言われます——自らをアルジェの支配者と宣言しました。一方『戦記』は、サリムをスペインと通じた裏切り者として描いています。

この話はここに正直に記します。その細部は主に敵の史料によるもので、完全には確かめられません。しかしもし本当なら、それは大きな過ちでした。助けを求めて自分を招いたムスリムを殺したのですから。

伝承の等級：サリム・アッ＝トゥーミーの死はスペインの史料に伝えられていますが、その細部とオルチの責任には議論があります。

参照：

ディエゴ・デ・アエド『アルジェ史』；『ハイレッディン・パシャ戦記』（セイイド・ムラーディー）。

アッラーの使徒ﷺは、ムスリムと戦うことについて厳しく戒められました。

ハディース ― 『サヒーフ・ブハーリー』第 48 番

حَدَّثَنَا مُحَمَّدُ بْنُ عَرْعَرَةَ، قَالَ حَدَّثَنَا شُعْبَةُ، عَنْ زُبَيْدٍ، قَالَ سَأَلْتُ أَبَا وَائِلٍ عَنِ الْمُرْجِئَةِ، فَقَالَ حَدَّثَنِي عَبْدُ اللَّهِ، أَنَّ النَّبِيَّ صلى الله عليه وسلم قَالَ " سِبَابُ الْمُسْلِمِ فُسُوقٌ، وَقِتَالُهُ كُفْرٌ ".

訳：

ズバイドは言いました。私はアブー・ワーイルにムルジア派について尋ねた。すると彼は言った。アブドゥッラー（・ブン・マスウード）が私に、預言者ﷺがこう言われたと語った。*「ムスリムをののしることは罪深い行いであり、彼と戦うことは不信仰である。」*

伝承経路： イマーム・ブハーリーの伝承：ムハンマド・ブン・アルアラ ← シュウバ・ブン・アル＝ハッジャージュ ← ズバイド・ブン・アル＝ハーリス・アル＝ヤーミー ← アブー・ワーイル・シャキーク・ブン・サラマ ← アブドゥッラー・ブン・マスウード رضى الله عنه。

出典： イマーム・ブハーリー『サヒーフ・ブハーリー』信仰の書、第 48 番。

等級： サヒーフ（真正）― 『サヒーフ・ブハーリー』に収録。ハディース学者の総意により、クルアーンに次いで最も真正な書である。

典拠： sunnah.com/bukhari:48

教訓

権力はしばしば人を試します。英雄の過ちを認めることは、歴史における正直さの一部です。

アルジェのスルタンとトレムセンの征服

歴史の注：1516〜1517 年

アルジェの支配者として、オルチはブリダ近くの ***ウエド・ジェールの戦い*** などでスペインと同盟した地方の支配者たちを破り、***テネス***、メデア、ミリアナなどの町を取りました。1517 年、ザイヤーン朝の都 ***トレムセン*** の人々は、スペインの同盟者であった自分たちのスルタン、アブー・ハンムーに対抗するため、彼に助けを求めました。

オルチはトレムセンを取り、アブー・ハンムーはスペイン領のオランへ逃れました。こうしてオルチはアルジェリア西部と中部の広い地域を支配しました。しかしトレムセンでの彼の立場は海から遠く、敵に囲まれていました。

伝承の等級： 主に『ハイレッディン・パシャ戦記』（セイイド・ムラーディーが記したハイレッディンの回想録）、キャーティプ・チェレビーの著作、ディエゴ・デ・アエドなどスペインの史料といった歴史書に、ハディース学者の基準による伝承経路なしで伝えられています。歴史として受け入れられていますが、真正なハディースのように典拠（フッジャ）として用いることはできません。

参照：

『ハイレッディン・パシャ戦記』（セイイド・ムラーディー）；ディエゴ・デ・アエド『アルジェ史』；ジャミール・アブー・ナスル『マグリブの歴史』。

教訓

急な成功は、退路を守らなければ危険を招くことがあります。知恵は攻めることだけでなく、守ることにもあるのです。

© 2026 年 / 1448 AH 著作権所有 Hj Che Alim Hj Che Haron — ムスリムのための無料版 |

川辺での殉教（1518 年）

歴史の注：英雄の最期

1518 年、マルティン・デ・アルゴテに率いられ、アブー・ハンムーと同盟したオランのスペイン軍がトレムセンを包囲しました。長い包囲の後、オルチは軍の一部を率いてアルジェへ向かうために町を出ましたが、スペイン軍に追われました。彼はアイン・テムシェント近くの川辺での戦いで、兄イスハークや多くの部下とともに殉教しました。

アエドは、オルチが敵を遅らせるために道に沿って金や銀をまいたが、スペイン兵はそれを拾うために止まらなかったと伝えています。一方『戦記』は、オルチが取り残されたアルジェとトレムセンの兵を守るために引き返し、彼らとともに倒れたと述べています。どちらの話も確かめるのは困難です。2018 年、彼が倒れた場所に記念碑が建てられました。

伝承の等級： 1518 年の殉教は確かですが、最期の瞬間の細部は史料によって異なります。

参照：

『ハイレッディン・パシャ戦記』（セイイド・ムラーディー）；ディエゴ・デ・アエド『アルジェ史』。

教訓

部下のために引き返すことをいとわない指導者は、指導の真の意味を教えてくれます。

© 2026 年 / 1448 AH 著作権所有 Hj Che Alim Hj Che Haron — ムスリムのための無料版 |

オルチの遺産——ハイレッディンとアルジェリア

歴史の注：1519 年以後

オルチの殉教の後、***ハイレッディン・バルバロッサ***として知られる弟***ヒズル***がアルジェで指導を引き継ぎました。1519 年、ハイレッディンはアルジェをスルタン***セリム 1 世***に服属させ、アルジェリアはオスマン朝の一部となりました。ハイレッディンは後にオスマン海軍の大提督となりました。

アルジェリアは 1830 年のフランスによる占領まで、3 世紀以上にわたってオスマンの主権のもとにありました。現代のトルコ海軍の艦船にはオルチ・レイスの名がつけられ、その名は今もアルジェリアとトルコで両民族の兄弟愛の象徴として記憶されています。

伝承の等級：主に『ハイレッディン・パシャ戦記』（セイイド・ムラーディーが記したハイレッディンの回想録）、キャーティプ・チェレビーの著作、ディエゴ・デ・アエドなどスペインの史料といった歴史書に、ハディース学者の基準による伝承経路なしで伝えられています。歴史として受け入れられていますが、真正なハディースのように典拠（フッジャ）として用いることはできません。

参照：

『ハイレッディン・パシャ戦記』（セイイド・ムラーディー）；キャーティプ・チェレビー『海の遠征についての偉人たちへの贈り物』。

教訓

英雄は倒れても、その仕事は彼が育てた人々によって受け継がれます。真の遺産とは、奮闘を続ける世代なのです。

© 2026 年 / 1448 AH 著作権所有 Hj Che Alim Hj Che Haron — ムスリムのための無料版 |

検討すべき物語と数字

典拠の注：事実と伝説のあいだ

オルチの物語には、慎重な検討を要する点がいくつかあります。***第一に***、主要なオスマンの史料『ハイレッディン・パシャ戦記』はバルバロッサ家を称えるために書かれ、一方アエドなどスペインの史料は彼らの敵によって書かれました。どちらも注意して読まなければなりません。***第二に***、救われたアンダルスのムスリムの数は確かめられません。***第三に***、銀の腕の話は伝承です。

第四に、退却のときにまかれた金の話と、オルチが兵のために引き返した話は、異なる史料に由来し、確かめるのが困難です。***第五に***、ヨーロッパの史料がつけた「海賊」というレッテルは、キリスト教側の同じ行いを無視しているため公正ではありませんが、私掠には美化できない奴隷化も含まれていました。確かなのは、ロドス騎士団による捕縛、アンダルスのムスリムを助けた役割、ブジーでの腕の喪失、アルジェとトレムセンの解放、そして 1518 年の殉教です。

伝承の等級： 主な出来事は確かですが、多くの細部は伝承であるか議論があります。

参照：

『ハイレッディン・パシャ戦記』、キャーティプ・チェレビー、アエド、および現代の歴史研究の比較。

教訓

味方と敵の両方の史料から歴史を読むことは、より公正な姿を見る助けとなります。

オルチの物語の典拠

この表は、読者が真正なものと単に有名なだけのものを区別できるよう、それぞれの物語の典拠と等級をまとめたものです。

物語	典拠	等級
ミディッリのヤクプの家族	『戦記』；キャーティプ・チェレビー	歴史
ロドス騎士団の捕虜	『戦記』	歴史；解放の仕方は諸説
捕虜を解放せよ	『サヒーフ・ブハーリー』3046	真正
アンダルスのムスリムの救出	『戦記』；キャーティプ・チェレビー	歴史；数は不確か
ムスリムはムスリムの兄弟	『サヒーフ・ブハーリー』2442	真正
海での最初の軍	『サヒーフ・ブハーリー』2924	真正
ブジーで腕を失う（1512年）	『戦記』；アエド	確か
銀の腕	伝承	不確か
信者のことはすべて善い	『サヒーフ・ムスリム』2999	真正
ジジェルの人々への小麦	『戦記』	歴史
アルジェの人々の呼びかけ（1516年）	『戦記』；アエド	確か
ウンマは一つの体のよう	『サヒーフ・ブハーリー』6011	真正
サリム・アッ＝トゥーミーの死	アエド；『戦記』	議論あり
ムスリムと戦うことは不信仰	『サヒーフ・ブハーリー』48	真正
トレムセンの征服（1517年）	『戦記』；アエド	確か
まかれた金	アエド	不確か
1518年の殉教	さまざまな史料	確か

人物・場所・年表

人物	役割
ヤクプ・アー	オルチの父；ミディッリの騎兵
イルヤース	オルチの弟；ロドス騎士団の襲撃で殉教
ヒズル（ハイレッディン・バルバロッサ）	オルチの弟；アルジェでの後継者
イスハーク	オルチの兄；1518年にともに殉教
コルクト王子	オルチを庇護したオスマンの王子
チュニスのハフス朝スルタン	オルチがチュニスを拠点とすることを許した
サリム・アッ＝トゥーミー	オルチを招いたアルジェの長
アブー・ハンムー	スペインと同盟したトレムセンのスルタン
マルティン・デ・アルゴテ	オランのスペインの指揮官

場所	出来事
ミディッリ（レスボス）	オルチの生地
ロドス	聖ヨハネ騎士団の拠点
アンダルス（スペイン）	1492年以後ムスリムが虐げられた地
ジェルバとラ・グレット	チュニジアでのオルチの拠点
ブジー（ベジャイア）	オルチが腕を失った地（1512年）
ジジェル	アルジェリアでの最初の拠点（1514年）
アルジェ	1516年に解放
トレムセン	1517年に征服；1518年に包囲

© 2026年 / 1448 AH 著作権所有 Hj Che Alim Hj Che Haron — ムスリムのための無料版 |

年	出来事
1474 年ごろ	ミディッリでオルチ誕生
1492 年	グラナダの陥落
1504 年ごろ	チュニスに拠点；教皇の軍船を捕らえる
1512 年	ブジーで腕を失う
1514 年	ジジェルを取る
1516 年	アルジェの解放
1517 年	トレムセンの征服
1518 年	オルチの殉教
1519 年	アルジェがオスマンの州となる

© 2026 年 / 1448 AH 著作権所有 Hj Che Alim Hj Che Haron — ムスリムのための無料版 |

オルチ・レイスについてのよくある質問

この章では、オルチ・レイスについてよく尋ねられる質問に答えます。答えは簡潔で、詳細はそれまでの章にあります。

1. オルチ・レイスとは誰ですか？

ハイレッディン・バルバロッサの兄で、アルジェの支配者となり、1518 年に殉教したミディッリ出身のオスマンの船乗りです。

2. なぜババ・オルチと呼ばれたのですか？

多くのアンダルスのムスリムを北アフリカへ救い出すのを助けたからです。

3. バルバロッサとはどういう意味ですか？

「赤ひげ」で、ヨーロッパの人々がつけた呼び名です。

4. 本当に捕虜になったことがあるのですか？

はい。ロドスの聖ヨハネ騎士団に捕らえられ、ガレー船の漕ぎ手奴隷とされました。

5. どのように腕を失ったのですか？

1512 年、ブジーを攻めたときに撃たれたためです。

6. 本当に銀の腕をつけていたのですか？

有名な伝承ですが、確かめることはできません。

7. 彼は海賊だったのですか？

ムスリムの国のために戦ったコルセア（私掠船乗り）でした。当時は双方が同じことをしていましたが、その活動には奴隷化も含まれていました。

© 2026 年 / 1448 AH 著作権所有 Hj Che Alim Hj Che Haron — ムスリムのための無料版 |

8. どのようにアルジェに来たのですか？

1516 年、アルジェの人々がスペインに対抗するために彼に助けを求めました。

9. サリム・アッ＝トゥーミーはどうなったのですか？

スペインの史料によればオルチに殺されましたが、その細部には議論があります。

10. 彼はいつ殉教したのですか？

1518 年、トレムセンから退却していたときです。

11. 後継者は誰ですか？

弟のハイレッディン・バルバロッサです。

12. 彼の物語の最大の教訓は何ですか？

災難は、弱いムスリムを助けることを妨げないということです。

教訓と結び

オルチの物語は、兄弟と自由と片腕を失いながらも、弱いムスリムを救い、北アフリカの海岸を解放するために奮闘し続けた船乗りの物語です——その物語には正直に検討すべき点も含まれていますが。

教訓	オルチの物語から
捕虜の解放	ロドスでの経験；『サヒーフ・ブハーリー』3046
虐げられた人々への助け	アンダルスのムスリム；婦人章 4:75；『サヒーフ・ブハーリー』2442
奮闘における意図	海でのジハード；『サヒーフ・ブハーリー』2924
気力を失わない忍耐	失った腕；イムラーン家章 3:139；『サヒーフ・ムスリム』2999
人々の心をつかむ	ジジェルへの小麦
兄弟の呼びかけに応える	アルジェ；部屋章 49:10；『サヒーフ・ブハーリー』6011
ムスリムの血は尊い	サリム・アッ＝トゥーミー；『サヒーフ・ブハーリー』48
身を捧げる指導	1518 年の殉教

信仰の兄弟を助けるオルチの情熱と、災難のなかでの不屈さにならい、その物語の検討すべき点からも学びましょう。

インシャーアッラー、『イスラームの英雄』シリーズは、弟であるオスマン海軍の大提督ハイレッディン・バルバロッサの物語へと続きます。

© 2026 年 / 1448 AH 著作権所有 Hj Che Alim Hj Che Haron — ムスリムのための無料版 |

参考文献

クルアーンと注釈

聖クルアーン、ウスマーン版の正書法と三田了一訳。quran.com

イブン・カスィール『偉大なるクルアーンの注釈』（イムラーン家章 3:139；婦人章 4:75；部屋章 49:10）。

ハディース

『サヒーフ・ブハーリー』48、2442、2924、3046、6011。sunnah.com/bukhari

『サヒーフ・ムスリム』2999。sunnah.com/muslim

イブン・ハジャル・アスカラーニー『ファトフ・アル＝バーリー』；ナワウィー『サヒーフ・ムスリム注釈』。

歴史書と研究

セイイド・ムラーディー『ハイレッディン・パシャ戦記』。

キャーティプ・チェレビー『海の遠征についての偉人たちへの贈り物』。

ディエゴ・デ・アエド『アルジェの地誌と通史』。

ジャミール・M・アブー・ナスル『イスラーム期のマグリブの歴史』。

L・P・ハーヴィー『スペインのムスリム 1500〜1614 年』。

トルコ宗務庁財団『イスラーム百科事典』「Oruç Reis」。islamansiklopedisi.org.tr/oruc-reis

QURANSCIENCE.MY の関連シリーズ

『イスラームの英雄』第 1 巻：ハムザ・ブン・アブドゥルムッタリブから第 26 巻：征服王メフメト 2 世まで。quranscience.my/#pahlawan

支援と寄付

この電子書籍はムスリムのために**完全に無料**で発行されており、**決して販売してはなりません**。研究費、ウェブサイト quranscience.my の運営費、そして次の電子書籍の発行のためのご寄付を心から歓迎します – ただし、**義務ではありません**。アッラーがすべてのご寄付を継続する施し（サダカ・ジャーリヤ）としてお受け入れくださいますように。

雌牛章 2:261

مَّثَلُ ٱلَّذِينَ يُنفِقُونَ أَمۡوَٰلَهُمۡ فِي سَبِيلِ ٱللَّهِ كَمَثَلِ حَبَّةٍ أَنۢبَتَتۡ سَبۡعَ سَنَابِلَ فِي كُلِّ سُنۢبُلَةٖ مِّاْئَةُ حَبَّةٖۗ وَٱللَّهُ يُضَٰعِفُ لِمَن يَشَآءُۚ وَٱللَّهُ وَٰسِعٌ عَلِيمٌ ٢٦١

アッラーの道のために自分の所有するものを施す者を例えてみれば、ちょうど 1 粒が 7 穂を付け、1 穂に百粒を付けるのと同じである。アッラーは御心に適う者に、倍加してくださる。アッラーは厚施にして全知であられる。

訳：三田了一 — quran.com/2:261

サバア章 34:39

قُلۡ إِنَّ رَبِّي يَبۡسُطُ ٱلرِّزۡقَ لِمَن يَشَآءُ مِنۡ عِبَادِهِۦ وَيَقۡدِرُ لَهُۥۚ وَمَآ أَنفَقۡتُم مِّن شَيۡءٖ فَهُوَ يُخۡلِفُهُۥۖ وَهُوَ خَيۡرُ ٱلرَّٰزِقِينَ ٣٩

言ってやるがいい。『本当にわたしの主は、そのしもべの中から御心に適う者に、御恵みを豊かに与えまた或る者には乏しく授けられる。かれはあなたがたが（主の道のために）施すものはすべて返される。かれは最も優れた御恵を与える方であられる。』

訳：三田了一 — quran.com/34:39

ハディース — 『サヒーフ・ムスリム』第 2588 番

حَدَّثَنَا يَحْيَى بْنُ أَيُّوبَ، وَقُتَيْبَةُ، وَابْنُ، حُجْرٍ قَالُوا حَدَّثَنَا إِسْمَاعِيلُ، - وَهُوَ ابْنُ جَعْفَرٍ - عَنِ الْعَلاَءِ، عَنْ أَبِيهِ، عَنْ أَبِي هُرَيْرَةَ، عَنْ رَسُولِ اللَّهِ صلى الله عليه وسلم قَالَ « مَا نَقَصَتْ صَدَقَةٌ مِنْ مَالٍ وَمَا زَادَ اللَّهُ عَبْدًا بِعَفْوٍ إِلاَّ عِزًّا وَمَا تَوَاضَعَ أَحَدٌ لِلَّهِ إِلاَّ رَفَعَهُ اللَّهُ ».

訳：

アブー・フライラ رضى الله عنه によれば、アッラーの使徒 ﷺ は言われた。「施しは財産を減らさない。人を赦すしもべに、アッラーは尊厳しか増し加えない。アッラーのためにへりくだる者を、アッラーは必ず高められる。」

伝承経路： イマーム・ムスリムの伝承：ヤフヤー・ブン・アイユーブ、クタイバ・ブン・サイードとアリー・ブン・フジュル ← イスマーイール・ブン・ジャアファル ← アル＝アラー・ブン・アブドゥッラフマーン ← 父 アブドゥッラフマーン・ブン・ヤアクーブ ← アブー・フライラ رضى الله عنه 。

出典： イマーム・ムスリム『サヒーフ・ムスリム』善行・親族の絆・作法の書、赦しと謙虚さを勧めることの章、ハディース第 2588 番。

等級： サヒーフ（真正）— 『サヒーフ・ムスリム』に収録。

典拠：sunnah.com/muslim:2588

ハディース ― 『サヒーフ・ムスリム』第 1631 番

حَدَّثَنَا يَحْيَى بْنُ أَيُّوبَ، وَقُتَيْبَةُ، - يَعْنِي ابْنَ سَعِيد - وَابْنُ حُجْرٍ قَالُوا حَدَّثَنَا إِسْمَاعِيلُ، - هُوَ ابْنُ جَعْفَرٍ - عَنِ الْعَلاَءِ، عَنْ أَبِيهِ، عَنْ أَبِي هُرَيْرَةَ، أَنَّ رَسُولَ اللَّهِ صلى الله عليه وسلم قَالَ « إِذَا مَاتَ الإِنْسَانُ انْقَطَعَ عَنْهُ عَمَلُهُ إِلاَّ مِنْ ثَلاَثَةٍ إِلاَّ مِنْ صَدَقَةٍ جَارِيَةٍ أَوْ عِلْمٍ يُنْتَفَعُ بِهِ أَوْ وَلَدٍ صَالِحٍ يَدْعُو لَهُ ».

訳：

アブー・フライラ رضى الله عنه によれば、アッラーの使徒 ﷺ は言われた。「人が死ぬと、その行いは三つを除いて途絶える。継続する施し（サダカ・ジャーリヤ）、役に立つ知識、またはその人のために祈る正しい子どもである。」

伝承経路： イマーム・ムスリムの伝承：ヤフヤー・ブン・アイユーブ、クタイバ・ブン・サイードとアリー・ブン・フジュル ← イスマーイール・ブン・ジャアファル ← アル＝アラー・ブン・アブドッラフマーン ← 父 アブドッラフマーン・ブン・ヤアクーブ ← アブー・フライラ رضى الله عنه 。

出典： イマーム・ムスリム『サヒーフ・ムスリム』遺言の書、死後に人に届く報奨の章、ハディース第 1631 番。

等級： サヒーフ（真正）― 『サヒーフ・ムスリム』に収録。

典拠：sunnah.com/muslim:1631

ジャザークムッラーフ・ハイラン・カスィーラ（多大なる善い報いがありますように）



上の QR コード（DuitNow）を読み取って寄付できます。

海外からのご寄付：上の PayPal QR コードを読み取るか、こちらへ paypal.me/quranscience